

# おい図書館

No. 22

## 松戸市内

### 図書館めぐり

「おい図書館」の会が発足してから、浦安(三回)、成田、町田、朝霞、市川、白井、印西、船橋市の各図書館を見学してきましたが、市内の分館を見たことはありませんでした。小金分館が新しくなったのをきっかけに、九月二十六日に分館めぐりを行ないました。参加者十名で、矢切分館、点字図書館、斎藤平介館、県立西部図書館、小金分館、新松戸分館を回りました。途中、分館を案内して下さった

本館の宮田さんの解説付きで、矢切の渡しと野菊の墓文石碑に立ち寄りました。大変充実した見学会と、好評の  
声が多くありました。  
何号かに分けて、  
見学記を掲載して  
いきます。



## 矢切分館

この分館は、総合福祉会館の中にあり、面積一〇二㎡、蔵書二万二千冊(内児童書八六六三冊)あります。爽やかな感じがありませんが、公民館や健康増進センターへ来館する人たちが利用するところが多いようです。ここには大活字本が八十タイトル程あり、(本館と合せて五十冊あり、早速見学者と借りた方がいました。

## 点字図書館

同じ総合福祉会館の中にあります。面積八㎡の広さの部屋に点字本九四冊、録音テープ六三五の本が所有されていました。現在登録している人は七十名弱います。

点字本のほとんどは点訳奉仕会(約四十名)の方たちによるものと、他に黙図も作っているものと、他に黙図とは、例えば、町の地図とか、二十世紀の森のホルのレストランのメニュー等があります。但し、点字本の実際の利用者は減少しているそうです。録音テープは、朗読奉仕会(約百名)の方のボランティアによるものですが、市の広報、市議会だより、その他あらゆる分野の物がああり、利用者の希望する物を

朗読、録音してくれます。(利用者へのテープに) テープの利用者は電話で申込むとダビングして郵送してくれ、返却も郵送でいいです。勿論、無料です。

対面朗読室もあり、約三十人のボランティアにより行われていきます。希望により直接家庭を訪問する場合もあるそうです。対面朗読はこの他に、県立西部図書館、七月から小金分館でも行っています。

又、この点字図書館は奉仕会の学習、情報交換の場になっていくとのことですが、朗読等は勉強会と訓練を重ねて、質の高いものを作成しています。体の不自由な人や高齢の人にも利用価値のある所です。



# 常盤平分館

常盤平市民センター内にあるこの分館は、近くに常盤平団地があり、登録者も二万人近くいます。貸出冊数と共に分館の中では、新松戸分館に次ぐ二位の利用状況です。

面積は一八〇坪近くあり、四万冊を越える蔵書があつて分館の中では大きい方です。座席数も二十七席あり、広い方ですが、ここでは収容能力をはるかに越えた蔵書数で、やはり圧迫感は拭えませんが、それでも、小さい分館を利用している者にとつては、せめてこの位の蔵書と広さがほしいというのが実感でした。

児童書は一五、二五一冊あり、その内の絵本の数は本館に次いで多いのですが、子供たちがゆっ

くり本を読むには狭いと思いましたが、この分館には紙芝居が一、三三組あるのが特長でしょうが、他には、本館に一三〇五組と、小金分館に二二三組あります。各分館に置けるようになると思います。

この位の規模の図書館であれば、利用者か直接使える検索機が是非必要だと思いましたが、他の分館の本も利用し易くするには各館でほしいものです。(磯村光良)



発行 「おーい図書館」  
連絡先 青木 和子

松戸市穂台八三〇一六〇  
〇四七三(六七)五三三四